

今さら聞きにくい?!

大阪国際の ギモン 第1回

国際バカロレアコースって

何なの??どいつなの??



2022年春、開校とともに大阪国際高校に新しく国際バカロレアコース、通称IBコースが誕生しました。でも、「IBってどんなことしているんだろう?」と疑問に思っている在校生の皆さんも多いはず! このコラムではそんな疑問を解消します! IBDP(国際バカロレアディプロマプログラム)は国際バカロレア機構が定める世界的に評価されたカリキュラム。特に本校は、一条校では大阪府内唯一の英語によるDPを提供しています。IBコースでは、3年生の11月に行われる認定試験でのハイスコア獲得を目標に勉強を進めていきます。IB認定試験のスコアを利用した入試や特別入試を受験することで、海外や国内の大学への進学を目指すことが出来るのです。では、実際にバカロレアコースで授業を受けている、1年I組(IBコース)の酒巻さんと堤さんにいろいろな質問を答えてもらいましょう!

Q IBコースにはどんな生徒がいるの??

A 海外で生活していたことのある帰国生や、海外にルーツを持つ生徒、インターナショナルスクールに通っていた生徒もいます。もちろん、日本の普通の中学校からIBコースを選択した生徒もいます。

酒巻 いろんな環境から来た人がいますが、皆オープンマインドで認めあうとてもいい雰囲気です。恥ずかしがったり、失敗を恐れたりすることなく、質問や発言を行い、学び合うことが出来ています。

Q IBコースでは英語で行う授業が多いって本当なの??

A 一年生のうちは約半分の授業を英語で受けています。「現代の国語」や「歴史総合」など、日本の高校の卒業資格に必要な科目は日本語で履修します。一方、2年生以降は本格的にIB資格取得のための授業が増えるので、「家庭科」「体育」「保健」などの授業以外はすべて英語になります。

堤 先日の中間テストでは日本語で履修している科目のテストだけを受けました。多くは他のコースと共通問題ですが、IB専用のテストを国語と英語の先生が作っていて、それがものすごく難しく、皆びっくりしていました。

Q 休み時間も英語をしゃべってる??

A 必ずしも英語というわけではありません。

Q IBコースの授業ってどんな感じですか??

A 探究型、対話型のものが多いです。中には「IOPK(知の理論)」など、教科書を用いない教材もあります。
堤 プレゼンテーションの機会も多いです。別々のテーマに

ついて調べて、発表を通して学び合います。発表では臨機応変に質問に答える必要がありますし、「I/M/CTE」セッション能力が必要ですね。でも、すごく楽しいですよー!

Q 好きな授業や苦手な授業はありますか??

A 二人 どの授業も楽しいです!

酒巻 特に僕は「IOPK(知の理論)」の考え方が好きです。どんな視野が広がる感じがします。調べたことに対して話を広げ対話をしていくのですが、途中で先生から質問が出て、それに対して皆で話し合い、答えを探究したりします。発想力や対話力を中心に10の学習者像で求められる力が鍛えられていると感じます。

Q IBコースで学ぶためにはどんな力が必要ですか??

A 英検2級以上の英語能力が必要です。

堤 英語の力の中でも特に語彙力はいへらあっても良いなと感じます。英語の文学について読解・探究する授業や、英語で様々なことを議論・説明する際に、語彙は必要不可欠です。

酒巻 「前」に出る力も必要だと思います。積極的に意見を言ったり対話をしたりするのが好きな人は向いていますね。また、逆に、IBの学習者像に「心を開く人」という項目があり、発言や発表、その人のパーソナリティーなどを受け入れる雰囲気があるので、気軽に発言や発表ができる環境でもあります。今は積極性に自信がない人もIBコースでは自然と前に出られるかもしれませんね。

堤 では、最後にインタビュアーに協力してくれた二人から一言!

酒巻 この記事でIBのことを知っていただけたら嬉しいです。何か質問があればいつでもI組に聞きに来てください。

